

平成24年度

# 「子ども司書」養成講座スタート！

「子ども司書」は、子どもの読書活動を進めるリーダーです。他の子どもたちから、「おすすめの本はどれですか？」「〇〇について調べたいけれど、どうしたらいいの？」と聞かれた時、アドバイスできる読書リーダーをめざします。今年で3年目をむかえます。

いろいろな種類の本を読んだり、図書館の仕事について学んだりして、本や図書館のことについてももっともっとくわしくなるために、地域の図書館や学校図書館でしっかり活動して、「子ども司書」になれるようがんばっていきます。

ここでは、第1回目となる全体研修①の様子について紹介します。

- 日 時 平成24年6月16日（土）  
10:30~16:00
- 場 所 広島県庁本館6階講堂
- 参加者 小学校第5・6学年の児童169名



## 【講座の様子】

### 講座1 「子ども司書になろう！」

ここでは、どのようにしたら「子ども司書」になれるのかについて、学びました。



「子ども司書」になるには、次の条件が必要です。

- ① 全体研修に2回とも参加すること
- ② 図書館での実地研修に3回参加すること
- ③ 学校や地域での秋の活動を5回すること
- ④ おすすめのポップを作成、提出すること
- ⑤ 日本十進分類法における5種類以上の本を2冊以上読むこと など

みんな、真剣なまなざしで、しっかりメモを取りながら話を聞きました。やる気満々です。



昨年度の認証者の発表

次に、昨年度この講座を受けて第2回「子ども司書」に認証されたお友達の話をお聞きしました。

「本が大好き もっと知りたい」というテーマで昨年度の活動報告と、そこから学んだこと、今後の活動について具体的に知ることができました。

活動を通して学んだ2つのこと、「図書館に行っても本を読んでみたいなと思えるためのしつけや工夫の大切さ」「笑顔と協力で成り立つ図書館」はみんなの心に残りました。すてきな発表をありがとうございました。



全体研修では、14班（各班A・Bグループ）に分かれて活動をします。  
 初めてのメンバーに、やや緊張の面持ちです。  
 そこで、楽しいゲームやグループ対抗読書クイズで、仲間づくり活動を行いました。  
 実は、こんな〇×クイズでした。皆さん、分かりますか？  
 ① 日本で出版されるすべての本を集めた図書館が東京にある。  
 ② 「子ども読書の日」は、4月22日である。  
 ③ 「古池やかかわず飛びこむ水の音」という俳句をよんだのは、小林一茶である。  
 ちなみに、③の答えはもちろん×です。正答は、松尾芭蕉ですね。では、小林一茶のよんだ俳句で、「かえる」が登場するものがあります。さあ、どんな俳句でしょう。ぜひ、調べてみてください。この講座に参加している皆さんの中には、即答できる人がたくさんいました。  
 (クイズの解答①〇 ②× ③×)



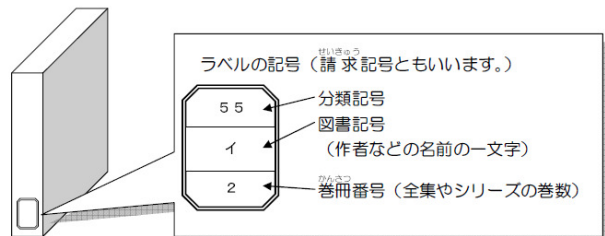
## 講座2 「日本十進分類法」を学ぼう！

本をさがしたり、選んだり、整理したりするのに便利な「日本十進分類法」について、学びました。



分類記号	主な内容
0	総記 (百科事典・年鑑・調べる本)
1	哲学・宗教 (心理・道徳・ものの考え方・生き方)
2	歴史・地理・伝記 (人々が行ってきたこと・地域の様子)
3	社会科学 (社会の仕組み・人々の生活・伝説)
4	自然科学 (算数・理科)
5	技術・工学 (機械・乗り物・家庭)
6	産業 (農林水産業・商業・交通)
7	芸術 (音楽・図画工作・スポーツ・演劇)
8	言語 (言葉・日本語・外国語・辞典)
9	文学 (詩・短歌・俳句・物語)

- 50 技術・工学
- 51 土木・環境
- 52 建築
- 53 機械
- 54 電気
- 55 海洋・船
- 56 金属
- 57 化学
- 58 製造
- 59 家庭・生活





実際に本の奥付を見て、分類を確認

ここに書いてあるよ！



### 【参加者の感想から】

- 日本十進分類法で、ラベルがない場合は奥付を見れば何の分類か分かることが勉強になりました。本の題名や内容を見れば、自分で予想し分類を当てることができ、おもしろいと思いました。いろいろな種類の本を読み、分類が分かるようになりたいと思いました。
- 一番勉強になったことは、日本十進分類法のことです。理由は、図書館の本だなんてらんでいる本が記号でなっているということ知らなくて、「どうやってならべているのだろう」と思っていたからです。
- 日本十進分類法を使いこなして、たくさん本を分けられるようになりたいです。

## 講座3 『読書っていいな』大作戦！

各グループで、学校や地域の皆さんがもっと本を読むようにするための作戦を考えました。自分が考えた作戦をふせん紙に書き、それをはりながら分類します。作戦を出し終わったら、グループでベスト3を選びます。各班でA・Bグループが相互に紹介し合い、最後は代表グループが全体場で発表しました。

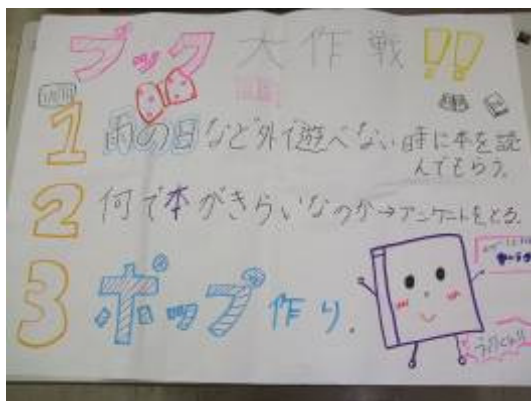
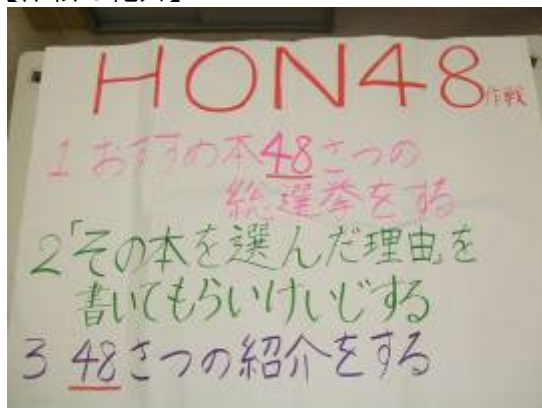
### 【1班～7班の様子】



【8班～14班の様子】



【作戦の紹介】



【参加者の感想から】

- 読書っていいな大作戦で、自分の意見もみんなに言えたり、みんなの意見も聞いて交流が深まった。知らない人ともいつの間にか仲良くなれてとても楽しかったです。
- 読書っていいな大作戦で、いろいろな人のアイデアを知ることができました。一番いいなと思ったのは、11班の「オリジナル本をつくる」というアイデアでした。友達のつくった本だから興味を持って読めるというのは、とても説得力がありました。意見を交流し合うのはいいな、と思いました。

休憩中も本に夢中の参加者





この日は、あいにくの雨模様で、蒸し暑い1日でした。でも参加したみんなは、そんな天気を吹き飛ばすぐらいの真剣さと意欲をもって研修に取り組みました。そして、同じ目的をもった県内各地の友達ができました。

これから9月7日までの間、それぞれの地域の図書館で夏の実地研修に取り組みます。みなさんの街の図書館で、「子ども司書」の研修をがんばっている子ども達を見かけたら、ぜひ「がんばっているね。」と声をかけてあげてください！！

